

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】令和1年7月18日(2019.7.18)

【公開番号】特開2017-225100(P2017-225100A)

【公開日】平成29年12月21日(2017.12.21)

【年通号数】公開・登録公報2017-049

【出願番号】特願2016-138112(P2016-138112)

【国際特許分類】

H 03K	19/0175	(2006.01)
G 09G	3/20	(2006.01)
G 09G	3/36	(2006.01)
G 09G	3/3233	(2016.01)
G 09G	3/30	(2006.01)
G 02F	1/1368	(2006.01)
H 01L	51/50	(2006.01)
H 05B	33/14	(2006.01)
H 03K	19/096	(2006.01)
H 01L	29/786	(2006.01)
H 03K	17/687	(2006.01)

【F I】

H 03K	19/00	1 0 1 F
G 09G	3/20	6 2 2 E
G 09G	3/20	6 2 2 B
G 09G	3/36	
G 09G	3/3233	
G 09G	3/30	J
G 09G	3/20	6 9 1 D
G 02F	1/1368	
H 05B	33/14	A
H 05B	33/14	Z
H 03K	19/096	A
H 01L	29/78	6 1 7 N
H 03K	17/687	A

【手続補正書】

【提出日】令和1年6月14日(2019.6.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

第1のトランジスタと、第2のトランジスタと、回路と、を有し、
前記第1のトランジスタのゲートは、第1の入力端子に電気的に接続され、
前記第1のトランジスタのソースまたはドレインの一方は、第1の配線に電気的に接続
され、
前記第1のトランジスタのソースまたはドレインの他方は、出力端子に電気的に接続さ
れ、

前記第2のトランジスタのゲートは、第2の入力端子に電気的に接続され、
前記第2のトランジスタのソースまたはドレインの一方は、第2の配線に電気的に接続され、

前記第2のトランジスタのソースまたはドレインの他方は、前記出力端子に電気的に接続され、

前記回路は、制御信号にしたがって、前記第1の入力端子と前記第1のトランジスタのバックゲートとを電気的に接続する第1の状態と、前記出力端子と前記第1のトランジスタのバックゲートとを電気的に接続する第2の状態とを、切り替える機能を有する、半導体装置。

【請求項2】

第1のトランジスタと、第2のトランジスタと、第3のトランジスタと、回路と、を有し、

前記第1のトランジスタのゲートは、前記第3のトランジスタのソースまたはドレインの一方に電気的に接続され、

前記第3のトランジスタのソースまたはドレインの他方は、第1の入力端子に電気的に接続され、

前記第1のトランジスタのソースまたはドレインの一方は、第1の配線に電気的に接続され、

前記第1のトランジスタのソースまたはドレインの他方は、出力端子に電気的に接続され、

前記第2のトランジスタのゲートは、第2の入力端子に電気的に接続され、

前記第2のトランジスタのソースまたはドレインの一方は、第2の配線に電気的に接続され、

前記第2のトランジスタのソースまたはドレインの他方は、前記出力端子に電気的に接続され、

前記第3のトランジスタのゲートは、第3の配線に電気的に接続され、

前記回路は、制御信号にしたがって、前記第1の入力端子と前記第1のトランジスタのバックゲートとを電気的に接続する第1の状態と、前記出力端子と前記第1のトランジスタのバックゲートとを電気的に接続する第2の状態とを、切り替える機能を有する、半導体装置。

【請求項3】

請求項1または請求項2において、

前記第2のトランジスタはバックゲートを有さない、半導体装置。

【請求項4】

請求項1または請求項2において、

前記第2のトランジスタはバックゲートを有し、

前記第2のトランジスタのゲートは、前記第2のトランジスタのバックゲートに電気的に接続される、半導体装置。

【請求項5】

請求項1乃至請求項4のいずれか一に記載の半導体装置と、表示装置と、を有する、表示モジュール。

【請求項6】

請求項5に記載の表示モジュールと、操作部と、を有する、電子機器。